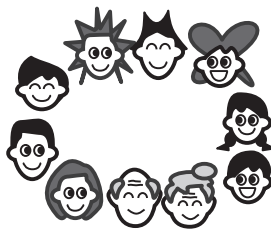


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和6年5月号
発行人 津谷歯科医院
院長 津谷良
住所 岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話：0120-779-418
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

令和6年4月の介護報酬改定では、要介護の方に対する口腔管理が一層強化されました。入所施設では、経過措置となっていた施設職員による口腔衛生管理が完全義務化されました。また新たに特定施設入居者生活介護における口腔衛生管理が義務化されました。(3年間の経過措置)これで、施設110万人と特定施設28万人が継続的に口腔管理を受けることができるようになりました。さらに在宅要介護者360万人に対しては、訪問介護等で、事業所の従業者による口腔の健康状態の評価を行って、歯科医院とケアマネジャーへ情報提供すると口腔連携強化加算(50単位/月)を算定できるようになりました。今月は、『要介護者に対する口腔管理』についてお届けします。

八
十
八
夜



1. 口から食べるということ

食事は、栄養や水分を摂るために必要なことで、口から食べることで脳血流量が増加したり消化器をはじめとした全身の各器官が維持されます。また要介護となり活動が制限される中、毎日の食事は生きる楽しみであり、精神面で幸せな時間をもたらしてくれる要です。口から食べるということは、「生命の根幹」と言えます。

2. 口腔機能とは

口腔機能とは、①食べる(噛む、味わう、飲み込む等) ②話す(発音、会話、歌う等) ③感情表現(笑う、怒る等) ④呼吸をする、といった機能のことを指します。呼吸は生命の維持に直結している大切なことですが、食べる・話す・感情表現といった機能も、生活の質や人とのコミュニケーションをはじめとした社会生活を営む上で、とても重要な役割を担っています。この口腔機能は「命の礎」と言えます。

3. 期待できること

口腔機能の回復や機能低下を防ぐためには歯科治療の他に、口腔ケアと口腔リハビリを実施することがと

ても重要です。口腔機能を向上させると、次のような効果が期待できます。

- ① むし歯、歯周病による歯の欠損が止まる
- ② 口から摂取できる食事の質と量が高まる
- ③ 食べる楽しみを得ると、生活意欲がわく
- ④ 会話、笑顔がはずみ、社会参加を続けられる
- ⑤ 日常生活動作の維持・向上がはかれる
- ⑥ 低栄養、誤嚥、肺炎を予防できるので結果的に入院予防・介護サービス継続につながる

4. 算定には歯科医院との契約が必要
訪問介護等の事業所様が口腔連携強化加算(50単位/月)を算定するためには、歯科訪問診療の実績のある歯科医院との文書による取り決め(契約)が必要です。施設入所者への口腔衛生への取り組みが義務化されたことから、いずれ在宅要介護者に対しても、訪問介護等の従業者による口腔の健康状態の評価や口腔機能管理が義務化されることが予想されます。提携歯科医院をお探し中、又はご検討されている事業所様は、お気軽に当院までお問い合わせください。

◆ 令和6年介護報酬改定で、在宅要介護者の口腔管理が始まります！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」って話をしていたのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組みなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413